

令和5年度全国学力・学習状況調査結果についてのお知らせ

令和5年4月に実施した全国学力・学習状況調査の調査結果がまとまり、本校としての分析・検討を行いましたので、その概要についてお知らせいたします。

なお、今回の調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。この調査結果に一喜一憂することなく、児童一人ひとりの力を伸ばすことに引き続き取り組んでまいります。

保護者の皆様、地域の皆様には、本調査の趣旨を十分にご理解した受け止め方をさせていただきますようお願い申し上げます。

調査について

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

◇国・公・私立の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

3 調査内容

①教科に関する調査（国語、算数）……「国語」「算数」で時間をとる。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

調査結果から

◇全体的な傾向について

[国語]

・①「知識及び技能」

平均正答率は、全国平均を上回り、正答数が多い方に固まっています。（品濃小：80%、全国 68%）

・②「思考力、判断力、表現力等」

平均正答率は、全国平均を上回り、正答数が多い方に固まっています。（品濃小：76%、全国 65%）

◎全国平均に比べ、特によかった設問

① 「知識及び技能」

・原因と結果など情報と情報の関係について理解する （品濃小：79%、全国 64%）

・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う〈2問〉 （品濃小：72%、全国 52%）

（品濃小：88%、全国 72%）

② 「思考力、判断力、表現力等」

- ・ 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる
(品濃小：87%、全国 70%)
- ・ 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや、自分が聞きたいことの中心を捉える
(品濃小：88%、全国 73%)

[算数]

① 「知識・技能」

平均正答率は全国平均を上回り、正答数が多い方に固まっています。(品濃小：79%、全国 67%)

② 「思考・判断・表現」

平均正答率は全国平均を上回り、正答数が多い方に固まっています。(品濃小：73%、全国 56%)

◎全国平均に比べ、特によかった設問

① 「知識・技能」

- ・ 加法と減法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりする (品濃小：91%、全国 72%)
- ・ 百分率で表された割合について理解している (品濃小：67%、全国 46%)

② 「思考・判断・表現」

- ・ 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する (品濃小：45%、全国 20%)
- ・ 示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを記述し、その結果から条件に当てはまるかどうか判断する (品濃小：79%、全国 56%)

◇児童質問紙の集計結果から

○今回の調査では、次のような点で本校6年生児童の傾向が見られました。

全国の平均値や神奈川県の前平均値と比べると、

- ・基本的な生活習慣（起床・就寝時間、朝食を毎日食べるか）が整っている児童が多い。
- ・自分にはよいところがあると思っている児童が多い。
- ・将来の夢や目標を持っている児童が多い。
- ・学校の授業以外（自宅学習や学習塾など）の学習時間、土曜日や日曜日の学習時間が多い。
- ・新聞を読んだり、読書をしたりする児童が多い。
- ・地域の行事に参加している児童は少ない。

◇今後の取組について

本校では、『わかる授業』『楽しい授業』『学び合う授業』を通して問題解決に粘り強く取り組み、自分の思いを進んで表現しようとする姿勢を育てる」ことを目標に掲げ、「だれもが安心して取り組むことができる授業」を目指してきました。

そのような取り組みの成果として、

- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか。（品濃小：85%、全国：78%）
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげているか。（品濃小：84%、全国：77%）
- ・授業で学んだことを、他の学習で生かしているか。（品濃小：88%、全国：81%）
- ・「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を整理し、調べたことを発表しているか。（品濃小：84%、全国：74%）

などに反映されていると思われます。

また、

- ・学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思うか（品濃小：99%、全国：95%）

という結果も見られました。学習内容に合わせたICT機器の活用を意識しながら、今後さらに、児童が楽しく、主体的に学べる授業を目指していきます。

今回の結果は、6年生児童対象のものでしたが、今後も児童の主体的に学ぶ力を高めていくために、引き続き全校で授業改善に取り組んでいきます。

*数値は「はい」「どちらかといえば、当てはまる」の合計